

Canon

Zoom Lens

CN7x17

CN8x15

CN10x25

クイックガイド「情報ディスプレイ」

基本操作 2

簡易モードTop画面 3

簡易モードMenu画面 4

通常モードTop画面 5

通常モードMenu画面 6

操作例 7

VTR、RET、AUXのスイッチへ 機能を割り付ける	7
アイリスゲインを調整する	8
メカ端を自動調整する	9

デジタル機能を活用する 10

■ ズームトラック機能	10
ズーム範囲を設定する	
■ シャトルショット	11
2つのズームポジション間を最高速で移動	
■ スピードプリセット	12
記憶させたズームの速度と方向を再現	
■ フレーミングプリセット	12
記憶させた画角とズームスピードを再現	

基本操作

ディスプレイ

操作しない状態が2分以上続くと表示が消えます。

最高ズームスピード調整ボリューム

アイリス瞬時オートスイッチ

アイリスゲイン調整トリマー

MEMOスイッチ

DISPLAYスイッチ

ディスプレイの表示をON/OFFします。

操作キー

カーソルを上下左右へ動かします。中央部分を押して確定します。

VTRスイッチ V

デフォルト: VTR

アイリスA/Mスイッチ AM

デフォルト: Norm

ズームシーソースイッチ Zoom

デフォルト: Zoom

RETスイッチ R

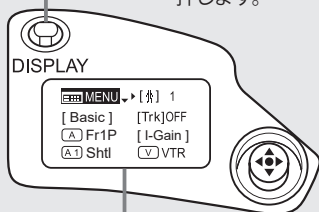
デフォルト: RET

AUXスイッチ A

デフォルト: Fr1P

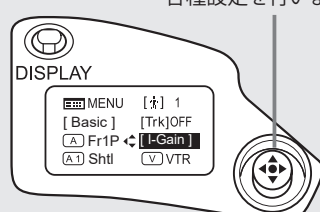
1 レンズの電源を入れます。

2 DISPLAYスイッチを押します。



ディスプレイが点灯します。

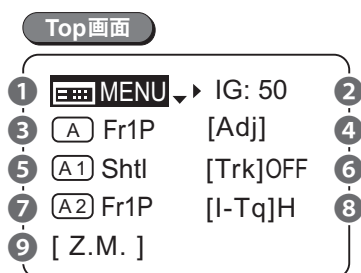
3 操作キーを使用し、各種設定を行います。



簡易モードTop画面

DISPLAYスイッチを押したときに最初に表示される画面が簡易モードのTop画面です。各種設定や設定状況の確認を行うことができます。本ガイドでは操作モードが簡易モード時と通常モード時の画面を例に説明します。

各設定項目の設定方法につきましては、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。



1 MENU MENU

Menu画面へ移動

2 IG アイリスゲイン

オートアイリスゲインの設定

3 [A] AUXスイッチ

機能の割付け デフォルト:『Fr1P』

4 [Adj] メカ端自動調整

メカ端の自動調整

5 [A1] AUX1スイッチ

機能の割付け デフォルト:『Shtl』

6 [Trk] ズームトラック

ズームトラック機能のON/OFF

7 [A2] AUX2スイッチ

機能の割付け デフォルト:『Fr1P』

8 [I-Tq] アイリストルク

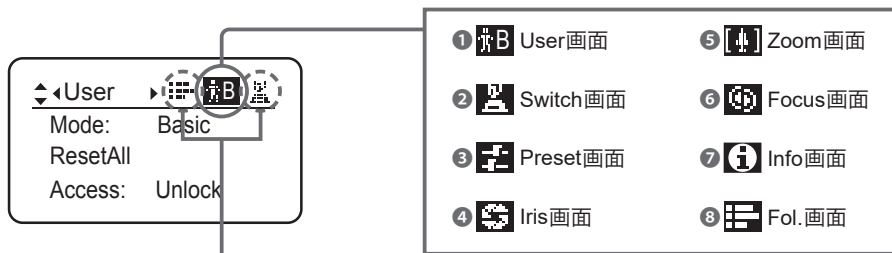
アイリストルクの設定

9 [Z.M.] ズームカーブモード

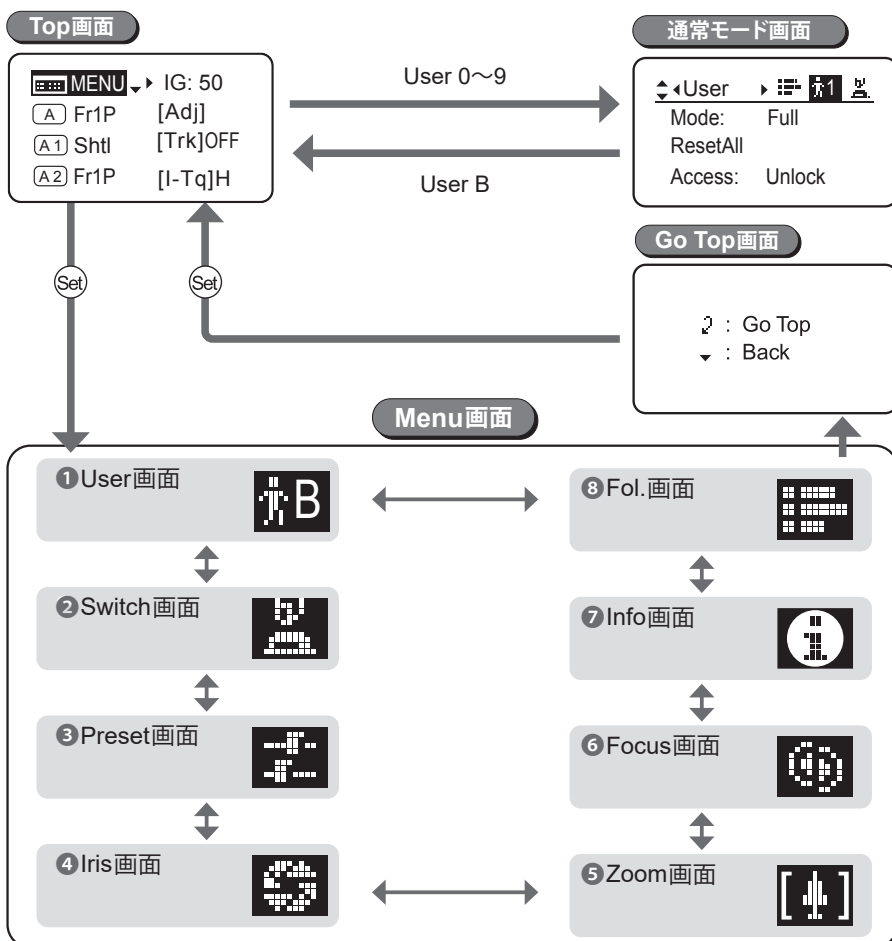
ズームスピード変化特性の変更

簡易モードMenu画面

選択されている画面のアイコンは反転表示になっています。

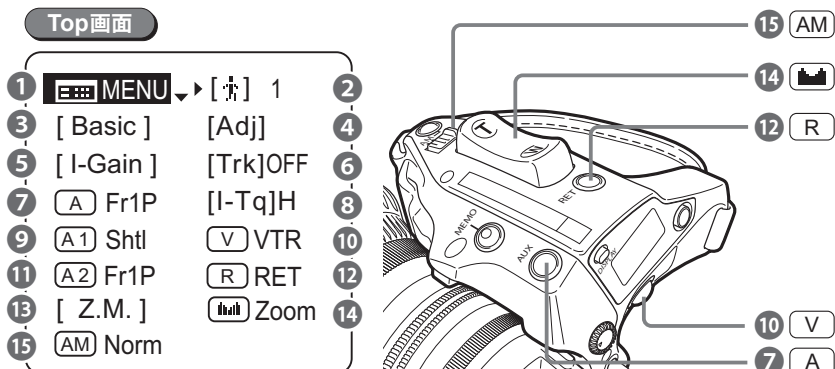


未選択画面のアイコンは反転表示になっていません。



通常モードTop画面

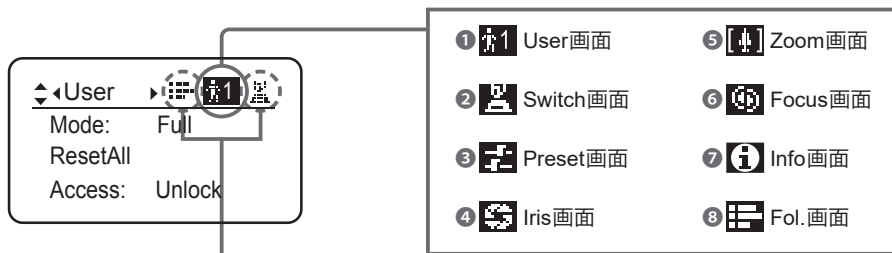
通常モードのTop画面です。下記15項目の設定や設定状況の確認を行うことができます。



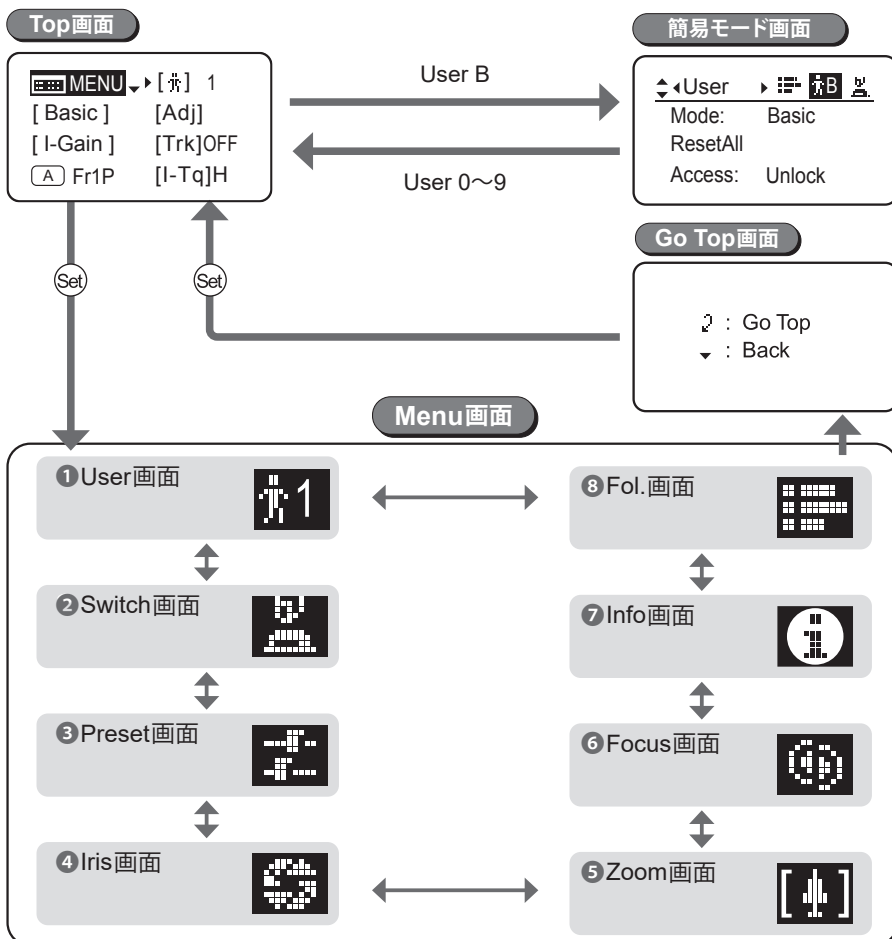
1	MENU MENU	Menu画面へ移動
2	[ユーザー]	1～9までのユーザごとに設定内容を登録可能
3	[Basic] 簡易モードへの切替え	簡易モードへの切替え
4	[Adj] メカ端自動調整	メカ端の自動調整
5	[I-Gain] アイリスゲイン	アイリスゲインの調整
6	[Trk] ズームトラック	ズームトラック機能のON/OFF
7	[A] AUXスイッチ	機能の割付け デフォルト:『Fr1P』
8	[I-Tq] アイリストルク	アイリストルクの設定
9	[A1] AUX1スイッチ	機能の割付け デフォルト:『Shtl』
10	[V] VTRスイッチ	機能の割付け デフォルト:『VTR』
11	[A2] AUX2スイッチ	機能の割付け デフォルト:『Fr1P』
12	[R] RETスイッチ	機能の割付け デフォルト:『RET』
13	[Z.M.] ズームカーブモード	ズームスピード変化特性の変更
14	[シーソー]	シーソースイッチに割り付ける機能(ズームまたはアイリス)の設定 デフォルト:『Zoom』
15	[AM] アイリスA/Mスイッチ	アイリスA/Mスイッチの機能設定 デフォルト:『Norm』

通常モードMenu画面

選択されている画面のアイコンは反転表示になっています。



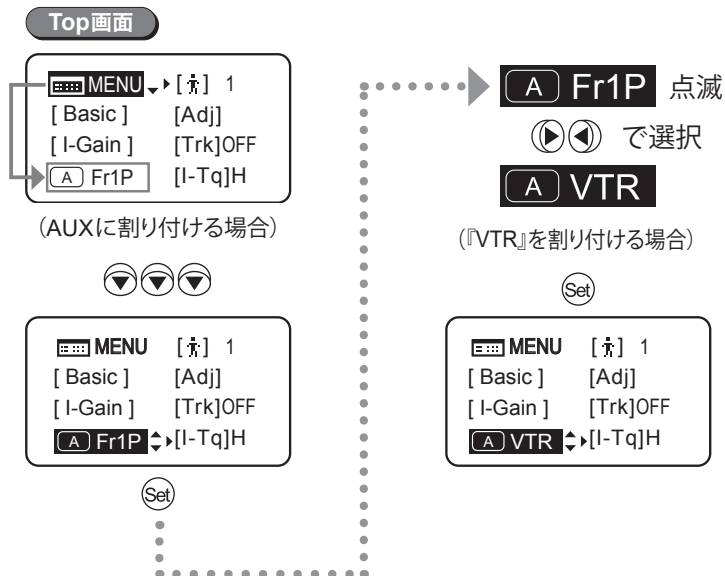
未選択画面のアイコンは反転表示になっていません。



操作例

VTR、RET、AUXスイッチに機能を割り付けます。

本ガイドでは通常モードでAUXスイッチにVTR機能を割り付ける方法を説明します。



アイコン		V	R	A	A1	A2
スイッチ名		VTR	RET	AUX	AUX1	AUX2
割り付け可能な機能	Fr1P	●	●	●	●	●
	Fr2P	●	●	●	●	●
	Fr1F	●	●	●	●	●
	Fr2F	●	●	●	●	●
	Sped	●	●	●	●	●
	Sh1	●	●	●	●	●
	NON			●	●	●
	VTR	●	●	●	●	●
	RET	●	●	●	●	●

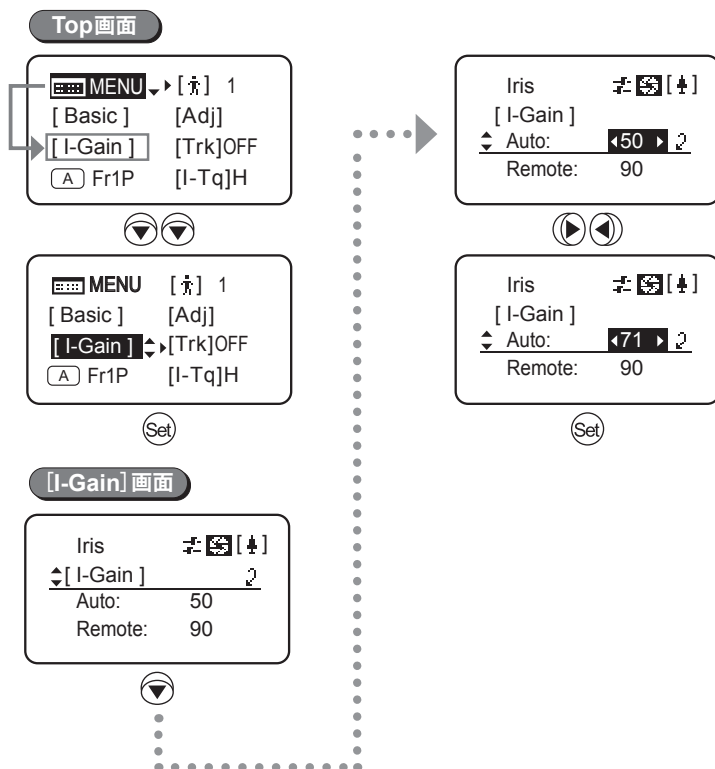
デフォルト

AUX1、AUX2スイッチはズームデマンド上のスイッチです。
各スイッチへの機能割り付けの詳細は取扱説明書「情報ディスプレイ」をご参照ください。

操作例

アイリスゲインを調整します。

アイリスゲインの設定値は、ディスプレイに表示されているユーザーとは無関係に、全てのユーザーに共通で使用されます。



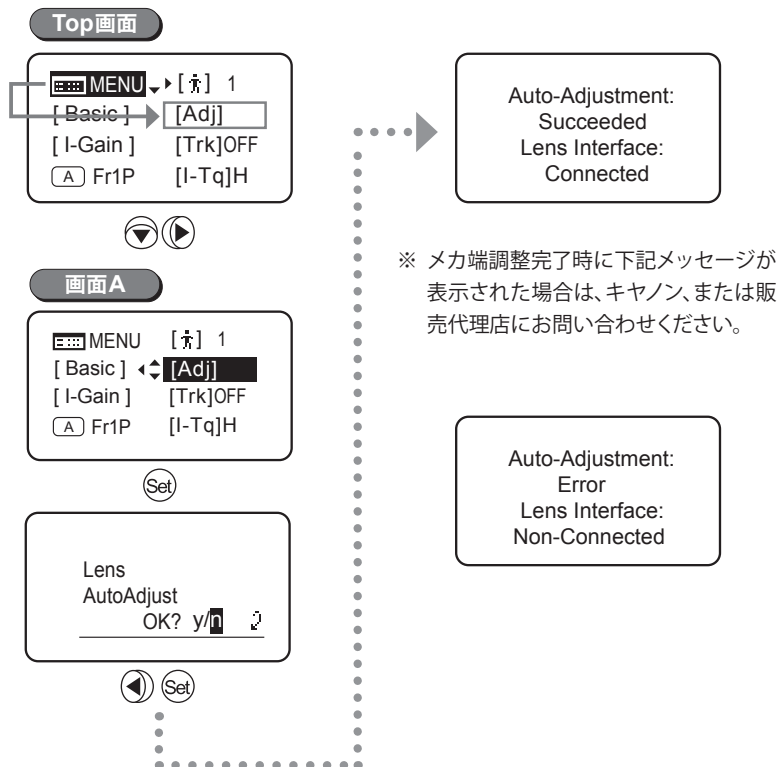
設定範囲	01 ~ 99
機能	ゲイン最小 ~ ゲイン最大

デフォルト
 オート : トリマーでの設定値
 リモート : 90

操作例

レンズ本体とドライブユニットのズーム、フォーカス、アイリスのメカ端を自動調整します。

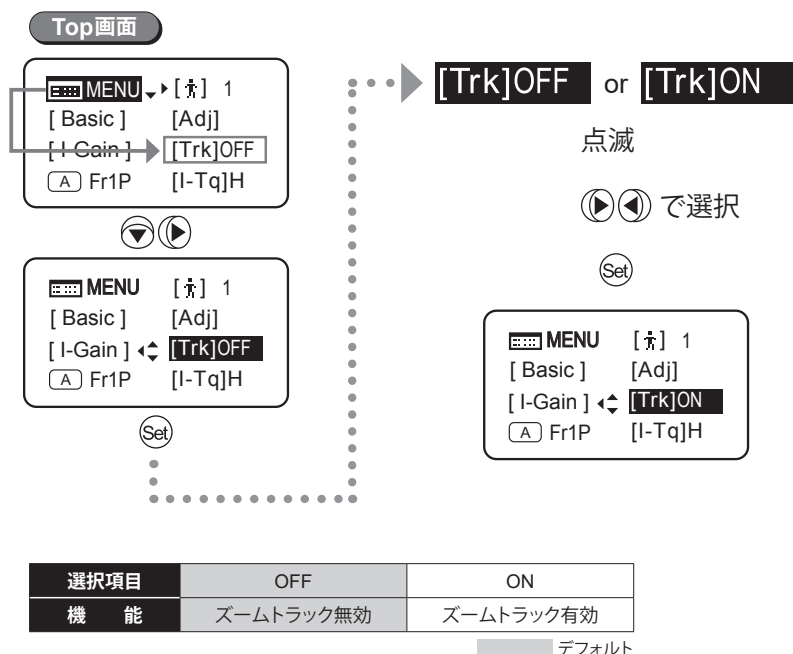
ドライブユニットを再度レンズ本体に取り付ける場合は、必ず取付後にメカ端の自動調整を行いません。



ズームトラック機能

ズームコントロール域(ズームトラック)を任意のズーム範囲に制限します。

ズームトラック機能のON/OFF



ズームトラック位置の設定

- 1 設定したいズームトラック位置にズーミングし、その位置を保持します。
- 2 MEMO スイッチを押しながらアイリス瞬時オートスイッチを押します。望遠側であれば望遠端、広角側であれば広角端のズームトラック位置として記憶されます。
- 3 望遠側、広角側それぞれについて1～2項の操作で設定します。どちらか一方の側だけを設定することもできます。なお、同じ側の設定操作を繰り返すと、最後に設定された位置が記憶されます。

デジタル機能を活用する シャトルショット

記憶させておいたズームポジションと現在のズームポジションとの間を、最高速でズームングします。

シャトルショット機能を使用するには、シャトル機能『Shtl』をVTR、RET、AUXスイッチに割り付けておく必要があります (P7参照)。

シャトルメモリーポジションの設定

- 1 記憶させたい任意のズーム位置にズームングし、その位置を保持します。
- 2 MEMOスイッチを押しながら『Shtl』スイッチを押します。
記憶したポジションは電源を切った後も記憶されています。

現在のズームポジション



『Shtl』スイッチを押し続ける



最高速度

シャトルメモリーポジション



『Shtl』スイッチを放す



最高速度

元のズームポジション



デジタル機能を活用する スピードプリセット

記憶させておいたズームスピードとズーム方向を繰り返し再現できます。

スピードプリセット機能を使用するには、スピードプリセット機能『Sped』をVTR、RET、AUXスイッチに割り付けておく必要があります (P7参照)。

ズームスピードおよびズーム方向の記憶方法

記憶させたいズームスピードとズーム方向(望遠側または広角側)にシーソースイッチ(『Zoom』)を操作し、ズーミング中にMEMOスイッチを押します。

なお、記憶されたズームスピードは「フレーミングプリセット」にも反映されます。

『Sped』スイッチを押すと、記憶させたスピードと方向(望遠側または広角側)でズーミングを始め、ズーム端で停止します。

デジタル機能を活用する フレーミングプリセット [ズーム]

記憶させておいた画角とズームスピードを繰り返し再現できます。

フレーミングメモリーポジションの設定

1 記憶させたい任意のズーム位置にズーミングし、その位置を保持します。

2 MEMOスイッチを押しながら『Fr1P』スイッチを押します。
記憶したポジションは電源を切った後も記憶されています。

フレーミングメモリーポジションへのズームスピードは、最高速にするかスピードプリセットで記憶させた速度にするか選択できます。詳しくは取扱説明書「情報ディスプレイ」をご参照ください。

フレーミングメモリーポジションへの移動

『Fr1P』スイッチを押すとフレーミングメモリーポジションへズーミングし始め、フレーミングメモリーポジションで停止します。



キヤノン株式会社

〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2